



民児協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2015年(平成27年)1月15日 第74号



第11回行灯の赤レンガと銀杏まつり(常陸太田市)

鶴見編集委員 撮影

目次

- 新春のごあいさつ(会長) 2
- 第33回県民生委員児童委員大会が開催される... 2
- 新年あいさつ(知事) 3
- 全国民生委員児童委員大会に参加して..... 3
- 民生委員・児童委員のための
相談技法研修会に参加して..... 4
- 全国主任児童委員研修会に参加して..... 4
- 茨城県からのお知らせ..... 5
- 地区民児協だより
 - ・ 大子町..... 6
 - ・ 笠間市..... 6
 - ・ 石岡市..... 7
 - ・ 常総市..... 7
- 事務局だより..... 8
- 編集後記..... 8

広げよう 地域に根ざした 思いやり

新春のごあいさつ



県民児協会長 鯨井 登美子

新年明けましておめでとうございます。
委員の皆様には、希望に満ちた
新年をお迎えのこととお喜び申し
上げます。

日頃より、住民に最も近い地域
福祉の担い手として、訪問や見守
り活動、相談活動などに誠実に取
り組まれている委員の姿に心より
感謝を申し上げます。

今、家族や地域での絆の希薄化
に伴い、孤立する高齢者や子育て
家庭が増え、ニセ電話詐欺被害や
孤独死、児童虐待の増加など様々
な課題が深刻化している状況にあ
ります。地域の絆や支え合いの重
要性が高まる今だからこそ、私た
ち民生委員・児童委員が住民の立
場に立って、丁寧な寄り添い、絆
を深めていくことが大切なのでは
ないでしょうか。

委員の皆様が、この役割を担っ
ていくためには、私たちの存在を
地域住民に理解いただく広報への
取組や、委員が問題に直面したと
きに対応できる見識や力量を備え
ること、委員一人で問題を抱え込
まず共有し合える体制をつくるこ
とが大切になります。

県民児協といたしましても、委
員活動の広報の工夫や、見識を深
め力量を高める研修の充実、さら
に、問題を共有し合える民児協づ
くりなど、委員が活動しやすい環
境づくりに努めてまいりたいと存
じます。

結びに、今年も県民児協事業へ
のご協力をお願い申し上げますと
ともに、皆様のご健勝とご活躍を
心よりお祈り申し上げます、新年のご
あいさつとさせていただきます。

第33回茨城県民生委員児童委員大会が開催される

県民児協評議員 矢田部 秀夫

まもなく立冬を迎える11月6
日、第33回茨城県民生委員児童委
員大会が茨城県立県民文化セン
ター大ホールを会場に盛大に開催
されました。

大会前の講演では「ここまで来
た日本の宇宙開発」と題して、宇
宙アカデミー主宰の菊山紀彦氏に
よる「日本人宇宙飛行士 国際宇
宙ステーションで活躍」をきめ細
やかにユーモアを交えて話をされ
ました。菊山さんは宇宙センター
所長時代、宇宙開発の専門家では
ないが独学で必死に勉強したそう
です。講演前半は月着陸、日本人
宇宙飛行士について、後半は、国
際宇宙ステーションでの実験につ
いての内容でした。宇宙では宇宙
ステーションに長期滞在するに
は、空気、水、食料、着替え、実
験装置などが必要であり「宇宙宅
配便」を利用するそうです。水の
補給はペットボトル1本分の輸送
経費が100万円となるため、尿
を飲料水にする装置を取り付け、
活用しています。また、宇宙食で
は日本食が好評で、数種類のメ

ニューの中でも特に鯖の味噌煮が
好評だったそうです。

大会では国歌斉唱、物故委員に
対する慰霊黙とう、民生委員児童
委員信条朗読と続き、鯨井会長の
主催者挨拶の後顕彰が行われ、茨
城県民生委員児童委員協議会会
長表彰36名、全国民生委員児童委員
連合会会長表彰7名、優良民生委
員児童委員協議会表彰1団体がそ
れぞれ受賞しました。続いて来賓
祝辞、受賞者代表謝辞が行われ、
最後に大会宣言が満場一致で採択
され式典を終了しました。



新年あいさつ



茨城県知事 橋本 昌

あけましておめでとございます。民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域住民の方々に対する様々な相談や援助活動を通して、社会福祉の向上に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、まだまだ厳しさが残る一年でありましたが、本県においては、一昨年に続き、上期の工場立地件数が全国第一位となるなど、明るい兆しも見えてきております。本年も、震災からの復興はもとより、地方創生に向けて全力を尽くしてまいります。

まず、広域交通ネットワークの整備や一層の企業誘致、最先端科学技術の拠点づくりや中小企業の振興、儲かる農業の実現、観光の振興などを進め、働く場の確保に努めてまいります。

また、結婚・子育て支援や地域医療の充実、高齢者の健康・生きがいづくり、障害者の自立支援、

霞ヶ浦の浄化などに取り組んでまいります。

さらに、少人数教育や理数教育・国際理解教育の推進など、我が国の将来を担う人づくりに取り組みますとともに、世界に開かれたいばらきづくり、女性や若者が活躍しやすい環境づくりなどに特に力を入れてまいります。

今年4月から始まる新たな生活困窮者自立支援制度をはじめ、高齢者への詐欺、児童虐待やいじめなどの問題に対しては、地域の見守り・支え合いがさらに重要なものとなっております。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、引き続き地域福祉の推進役として、本県の社会福祉の向上のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

茨城県民生委員児童委員協議会の更なるご発展と、皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。新年のごあいさつといたします。

全国民生委員児童委員大会に参加して

県民児協評議員 大槻 光夫

第83回全国民生委員児童委員大会が10月23日～24日の2日間、和歌山市において全国から3200名余の民生委員児童委員が集結して盛大に開催されました。本県からは鯨井会長以下27名が参加いたしました。

初日は、「紀州雑賀鉄砲衆」と「黒潮躍虎太鼓」の演舞で幕を開け、式典に移り、和歌山県民児協会長の開会あいさつ、主催者あいさつがありました。続いて、全民生連会長から優良民生委員児童委員協議会などの表彰があり、本県では、「つくばみらい市伊奈地区民児協」が受賞しました。

特別講義は「さらなる一步を踏み出そう!」と題し、講師は立木早絵氏で和歌山県生まれのシンガーソングライターです。彼女は2歳の時に病気が原因で全盲となり現在に至っています。その間、健常者でも困難な津軽海峡横断リレー、アフリカの最高峰キリマンジャロ登頂などに挑み成功しまし

た。これらの挑戦を通じて、スタッフや多くの支援者の支えにより絆の大切さを実感したそうです。彼女の今後のご活躍を期待したいと思います。

2日目は、10の分科会の活動交流集会が各会場に分散し開催されました。特に「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくりの推進」のテーマには、高齢化時代を反映して、多くの委員が参加し、講義と事例発表を傾聴いたしました。



民生委員・児童委員のための

相談技法研修会に参加して

稲敷市民児協副会長 黒田伸治

平成26年度民生委員・児童委員のための相談技法研修会が、8月25日(26日まで)、全国から161名が参加して新横浜国際ホテルにて開催されました。

1日目は、元梅花女子大学准教授の植田寿之氏による「相談援助の視点と態度」の講義を受けました。その中で、①人の問題は背景に色々な問題が潜んでいるから背景まで理解して全体を見て援助する必要がある。②人のニーズは簡単には見つからない。信頼関係を築き見つけることが大切である。

③援助の基本態度は、プライバシーを守り相手の気持ちをわかろうとする姿勢を見せることが大切であることを学びました。その後、「相談支援のポイント」のDVD学習後、各グループに分かれ、民生委員としての問題点について議論しました。その結果を受けて、講師の植田氏より、①相手の感情を否定せず、感情に引き込まれることなく受け止め理解や反応を示すこと。②社会的規範によって善悪の判断をせず受け止めることなどのコメントをいただきました。



2日目は、「相談援助の原点と本質」の講義を受け、①人の人生に寄り添うとはどんなことか。②援助関係で無意識のつながりを意識する等でした。最後に、「相談面接技法」の講義を受け、相談面接のロールプレイを行い、各グループでの結果発表をしました。2日間にわたり、人間性を高め信頼され、頼りにされる民生委員児童委員になるよう、人間を磨くことに注力したいと考えた研修でした。

全国主任児童委員研修会に参加して

大洗町主任児童委員 平沼正美

平成26年8月27日(28日)、平成26年度全国主任児童委員研修会(東日本)が浜松市のグランドホテル浜松において、267名が参加して開催されました。

1日目は、行政説明を厚生労働省専門官の三浦宰氏が「児童福祉の動向と児童委員活動」と題して、主任児童委員の職務・役割・期待するもの等について話されました。続いて、明治学院大学教授の松原康雄氏から「子ども子育て家庭をめぐる課題と主任児童委員の活動」の講義がありました。その後、

関西学院大学教授の前橋信和氏がコーディネーターとしてシンポジウムが行われ、「ひとり親家庭の支援について」という題で三人のシンポジストの発表がありました。千葉ベタニアホーム(母子ホーム)の施設長・川口学氏のDV被害世帯や孤立した母子の悩みや問題を抱えた困難な生活状況の発表は、何とか自立・改善することができないものか、また、児童委員・主任児童委員としてどんな支援ができるのかを考えさせられました。2日目は、分散会B会場に参加しました。昭和女子大学・國學院



大學講師の高橋久雄氏の「子育てを応援し、子どもの健やかな育ちを支える地域づくりについて考える」の講義があり、その内容を参考にして私たちのグループは、いろいろな課題の中から「高齢者パワーカーの発掘と活用」というテーマで企画書を作成しました。2日間の充実した研修内容や各地区の主任児童委員から得た情報を基に、関係機関と連携を密にし、今後の活動を充実させたいと思います。

～茨城県からのお知らせ～

生活困窮者自立支援法について

「非正規雇用労働者」「年収200万円以下の給与所得者」「高校中退・中高不登校」「ニート・ひきこもり」等の増加、さらには「世代間の貧困の連鎖」の問題など、生活困窮者に至るリスクの高い人が増加しています。

このような中、平成27年4月から、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給その他の支援を行うための生活困窮者自立支援法が施行されます。

生活困窮者の発見や見守りのネットワークの構築には、住民の立場に立って相談・支援を行っている民生委員・児童委員さんの役割が重要ですので、ご協力をお願いします。

○実施主体等

福祉事務所設置自治体（郡部は県，市部は各市）

○事業内容（③～⑥の事業は、自治体によって実施しない場合があります。）

①自立相談支援事業（必須事業）

就労の支援その他の自立に関する問題につき、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行う事業

②住居確保給付金（必須事業）

離職により住宅を失った又はそのおそれのある生活困窮者であって、所得等が一定水準以下の者に対して、有期で住居確保給付金を支給する。

③就労準備支援事業（任意事業）

雇用による就業が著しく困難な生活困窮者に対し、一定の期間内に限り、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業

④一時生活支援事業（任意事業）

住居を持たない生活困窮者に対し、一定の期間内に限り、宿泊場所の提供や食事の提供等を行う事業

⑤家計相談支援事業（任意事業）

生活困窮者の家計に関する問題につき、相談に応じて必要な情報の提供及び助言を行い、併せて支出の節約に関する指導その他家計に関する継続的な指導及び生活に必要な資金の貸付けの斡旋を行う事業

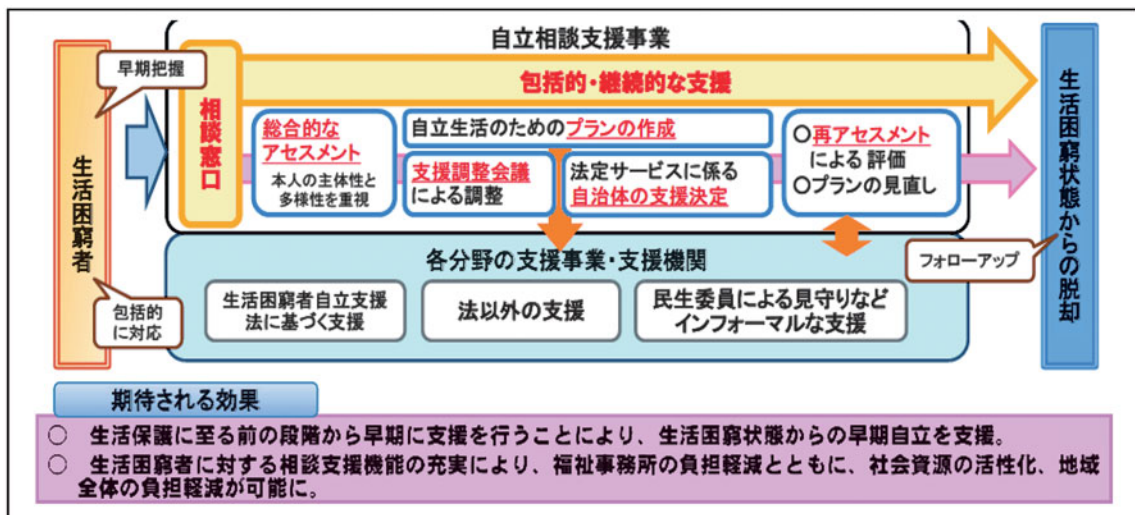
⑥学習支援事業（任意事業）

貧困の連鎖の防止に向けての取り組みとして、生活困窮者家庭の子どもに対し学習の援助を行う事業

⑦就労訓練事業（「中間的就労」）の推進

直ちに一般就労が困難な者に対し、就労の機会を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う事業を実施する場合、その申請に基づき、都道府県等が事業の認定を行う。

※必須事業：必ず実施する事業 任意事業：必要に応じて実施する事業



協 だ よ り

大子町

大子町民児協の活動について

大子町民児協会長 中野 篤

大子町は、県北の山間地域に位置しており、袋田の滝に代表される町です。民児協は81名(内3名は主任児童委員)で構成されています。

今年度の事業として、定期総会の中で、「高齢者対策・障害福祉の内容について」研修会を開催し、委員同士が共通の問題を共有して理解を深めています。県外研修では、東日本大震災で被災した南三陸町を訪問し、語り部の案内により町内の被災箇所をまわりました。民児協・行政との意見交換では、当時の状況に胸が痛み、目頭が熱くなりました。今更ながら災害の大きさを実感しました。自然は人類に大きな恵みをもたらしますが、時として人間の力では対処できないことを思い知らされました。

児童生徒の健全育成では、主任児童委員と、保育園・幼稚園・小学校・中学校を訪問し、問題の発生を未然に防止するようにしております。

今年新たに任命された委員が3分の1です。何事も初めての体験であり、面食らうことが沢山あると思われまます。困ったときは一人で悩まず先輩委員や行政と相談し、悩みを抱え込まないように話しております。今後は、新任委員の悩み事相談会を設けたいと思います。

大子は過疎の町で少子高齢化の波をまともに受けていますが、私たち民児協は、地域住民が安心して生活できるよう、関係機関と連携を図りながら支援活動に取り組んでまいります。



笠間市

地区間交流の充実をめざして

笠間市連合民児協会長 佐藤 肇

笠間市は、日本三大稲荷と陶器の笠間焼等観光を中心とした旧笠間市、常磐線と水戸線のJ-R沿線および、常磐自動車道と東北自動車道や関越自動車道を結ぶ北関東自動車道を有し、交通の利便性を利用した商業を中心とした友部町、そして米、栗、梨など農業を中心とした岩間町が、平成18年に合併して、生まれました。

合併後は連合民児協として発足し、民生委員数は笠間地区60名(内主任児童委員3名)、友部地区59名(内主任児童委員3名)、岩間地区32名(内主任児童委員2名)合計151名で構成されています。3地区の事項別委員会の名称を統一し、①児童、母子福祉委員会②生活保護関係委員会③障害者(児)福祉委員会④高齢者福祉委員会として、それぞれの地域の特性を生かした活動を実施しています。そして、3地区合同の事項別委員会を組織し、年一回、合同研修会を開催して親交を深めています。また、災害時の要支援者、一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などの調査は、様式を統一し、同じ内容でリストの作成、調査を実施しています。

主任児童委員を中心とした、虐待、不登校、いじめ等の調査、相談など、児童相談所や学校との協議は3地区が一緒になって実施しています。

連合民児協全体研修会を年一回開催し、3地区の親交を深めています。今年度は茨城大学の先生から『虐待、ネグレクト等をする親への関わり方について』をテーマに11月に講演を実施しました。



地 区 民 児

石岡市

石岡市東地区民児協の活動について

石岡市東地区民児協会長 藤波 克己

石岡市は、五つの単位民児協がありますが、当民児協は中学校1校、小学校2校の地区で、主任児童委員2名を含めて32人で活動しています。地区の特徴として、新興住宅地と農村地帯の混在が挙げられます。当地区の世帯数は約7450世帯で、一人暮らしの高齢者登録数は194件です。

当地区は、月一回の定例会がありますが、事前の運営委員会で定例会の運営について討議しています。しかし、現在の定例会は単に連絡が主となり、行政や社協などからの要請への対応、検討に時間がとられ、それが主たる協議になっていると感じています。

そこで、運営委員会において、委員相互の意思の疎通と個々の資質の向上が活動の基本であり、過去に行っていた事例の検討を行い、各委員の活動上の課題、悩みなどを話し合う場を作ること。AEDの講習など定例会の時間が許す範囲で実施しようという意見が出され、来年度の計画に織り込むことになりました。

また、委員相互の意思の疎通を図るために、一泊の県外研修が非常に重要だと思ひ、定例会では席が離れていて、話しをすることがなかった委員同士を組み合わせ、同じ部屋にして親睦を図るようにしています。

最後に活力ある民児協にするには、個々の資質の向上が不可欠と考え、勉強の機会を更に行きたいと思ひます。



常総市

常総市石下地区民児協の活動について

常総市石下地区民児協会長 若月 博

常総市連合民児協は、北海道地区、石下地区を合せて、委員数106名で構成されています。

石下地区民児協の委員は、生活保護、老人福祉、更正資金、身障知障、児童婦人の事項別委員会に所属して、専門性を生かした活動ができるよう、講師を招いて講話研修を実施しています。また、集落別に少人数で、特別な課題の対応も協議しています。

年一回の視察研修では、車中における定例会の開催、宿泊先での交流会を通して、委員相互のコミュニケーションを図っています。今後の活動に役立てる事業として、継続していききたいと考えます。

その他、明るい社会づくりの立哨活動等を実施しています。平成24年度市町村民生委員児童委員協議会会長・副会長合同研究協議会における事例発表で、救急医療情報キット配布事業は有意義と感じ、石下地区民児協として設置を行政に具申することを申し合わせました。さらに、北海道地区民児協とも連携し、行政に要望を行い、早期に一人暮らしの高齢者、要援護家庭1000世帯余りに配布できました。

また、民児協の活動強化週間に合せ、キット内の記入事項の点検見直しを実施してまいります。連合民児協会長をしておりますので、今後も必要と思われる事業について、両地区の交流を密にし、行政や関係団体と連携を図りながら、誰でも安心、安全に暮らせる地域を目指して、一層支援活動に取り組んでいきたいと思ひます。



事務局だより

祝受章

この度、次の方が栄えある叙勲を受けられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

○叙勲

瑞宝単光章

鯨井 登美子(下妻市)

●「二セ電話詐欺防止の啓発」について

振り込め詐欺などの特殊詐欺による被害が、過去最高だった昨年を上回るペースで増えています。県内においても、毎日、高齢者が二セ電話詐欺の被害にあったことが報道されています。

茨城県民児協といたしましては、9月の理事会において、これらの詐欺から高齢者世帯などを守るため、地域にあった啓発チラシを作成し、啓発することを決定いたしました。

各市町村民児協の民生委員・児童委員の皆様には、訪問の際にチラシの配布を通して、このような不幸な

ことが起きないように、積極的な啓発をお願いいたします。

県からのお知らせ

▼児童虐待防止のために

児童相談所への虐待相談対応件数は増え続け、平成25年度は、茨城県、全国ともに過去最多となりました。きょうだいケースの計上(一人の児童が虐待を受けた場合、他のきょうだいは心理的虐待を受けたと計上する。)も一因ですが、子どもの生命にかわる重篤かつ悲惨な事件が後を絶ちません。

平成17年の児童福祉法改正により市町村においても虐待相談を受け付けることとなりました。また、地域の関係者が一堂に会し、個別の虐待ケースについての具体的対応のための要保護児童対策地域協議会が県内全市町村に設置されており、地域福祉の担い手の中心である民生委員・児童委員の皆様は、引き続き地域住民の方々への通告義務の周知や要保護家庭への支援等により、児童虐待撲滅に向けて御協力をお願いいたします。

24時間相談対応の「いばらき虐待ホットライン」はこちらへ。

☎0293(22)0293

県社協からのお知らせ

▼生活資金貸付制度のご案内

生活資金貸付制度は、国の制度で、県を通じて茨城県社会福祉協議会が実施主体となり、お住まいの市町村社会福祉協議会窓口に行うもので、安心してご利用いただけます。

資金の貸し付けと相談援助により、安定した生活が送れるようにすることを目的としています。

【問い合わせ先】

・茨城県社会福祉協議会

☎029(241)1133

・各市町村社会福祉協議会

▼福祉人材センターは福祉職場への就職応援と人材確保について、茨城県福祉人材センターでは、就職活動を応援しています。

福祉の仕事我希望する求職登録や、求人事業所等への情報提供、福祉に関する資格・取得方法等、福祉職場への就職に関する相談を行っています。

【問い合わせ先】

茨城県福祉人材センター

☎029(244)4544

〈利用時間〉

月～金、午前9時から午後5時
(土・日、祝祭日、年末年始を除く)

編集後記

毎朝、元気に登校する子どもたちの見守りに立ち元気をもらっています。その子どもたちを取り巻く環境について、このところ気がかりな話題が多く報道されています。

いじめや虐待はひとまずおくとしまして、乳幼児検診に行かない未受診世帯の多発から始まり、所在地に住居実態が無いとして住民登録を抹消されていることと、その後放置されてしまい入学名簿からも名前が消えてしまうなどがありました。

最近、政府指導で追求捜査が進められ改善されているとありましたが、地域を見守る民生委員児童委員として、児童虐待につながる所在不明者が、もう一歩広い視野を持った活動で、一人でも少なくなればと願っています。

編集委員 市村捷二

発行人
一般財団法人
茨城県民生委員児童委員協議会
会長 鯨井 登美子

〒310-0851
水戸市千波町1918
茨城県総合福祉会館内
TEL 029-243-5361
FAX 029-243-5902
URL: <http://www.ibaraki-minjikyo.or.jp>
E-mail: iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp